



監修
名古屋大学名誉教授
あいち・なごや強靱化共創センター長
福和伸夫 教授

内閣府
Cabinet Office

政策統括官（防災担当） 村
等 事務官（編集・企画担当）

〒100-8914
東京都千代田区永田町 1-6-1
中央合同庁舎 8 号館 3F
TEL: 03-5253-2111 (大代表)
https://www.bousai.go.jp/
jshin/nankai/rinji/index.html

気象庁
Japan Meteorological Agency

地震火山部地震火山技術・調査課

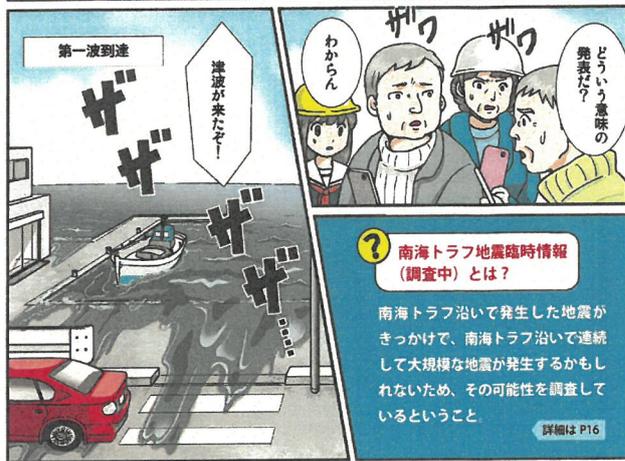
〒105-8431
東京都港区虎ノ門 3-6-9
TEL: 03-6758-3900 (代表)
FAX: 03-3584-8643
https://www.data.jma.go.jp/
equev/data/nteq/index.html

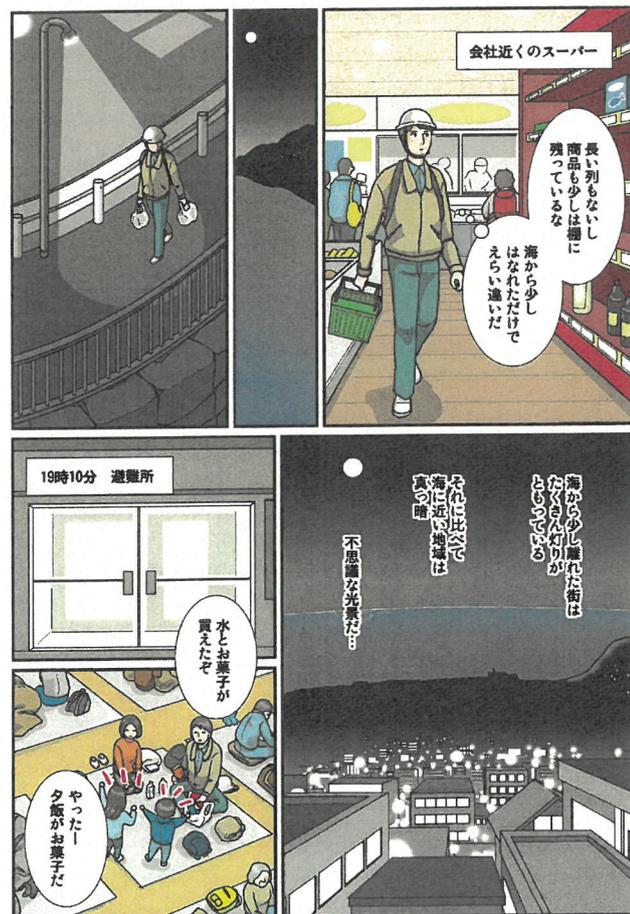
総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency

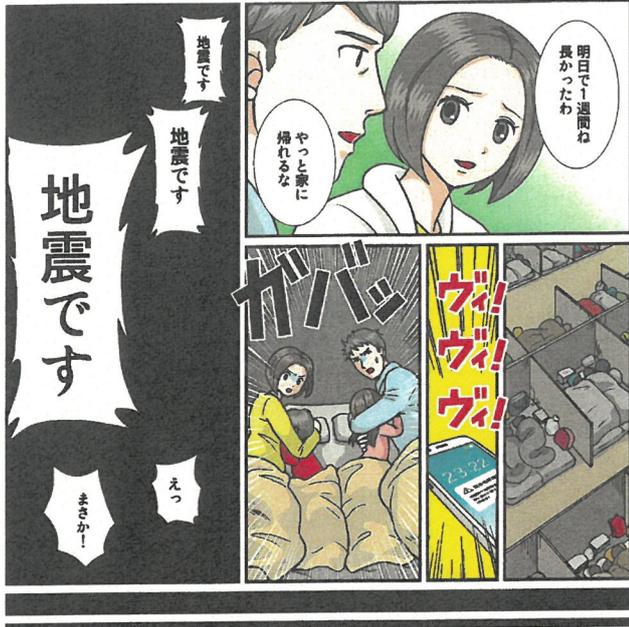
国民保護・防災情報課

〒100-8927
東京都千代田区霞が関 2-1-2
中央合同庁舎 2 号館
TEL: 03-5253-5111 (代表)
https://www.fdma.go.jp/









このあと、震度7の揺れがこの地域を襲いました。また、地震に伴う巨大な津波がこの一家の住む地域に襲来し、南海家の自宅は流されてしまいました。しかし、南海トラフ地震臨時情報を受け、この家族は事前に避難していたため、全員無事でした。南海トラフ地震はもしかすると明日に起こるかもしれませんが、そのときあなたならどうしますか。

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表時の対応及びその時の状況

マンガで描かれている、先に起こった地震や南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)の発表を受けて、社会はようになっていたのでしょうか。地図で位置関係を整理しながら、各地域で何が起こっていたのかをみてみましょう。

大きな被害がなかった地域

(津波に備えた事前避難対象地域なし)

- 大きな被害なし
- 地震への備えを再確認し、地震に備えながら通常の生活を送る
- 企業活動等は通常通り
- 一部物資の不足が想定される

大きな被害があった地域

- 揺れや津波による甚大な被害、火災の発生
- 人命優先の応急活動の実施
- 不足する救援、医療、物資
- 広範囲にわたり電気、ガス、上下水道、通信サービス等のライフラインが停止
- 多くの道路で亀裂、沈下等による不通が生じ、鉄道や空港などの交通インフラも停止するなど

大きな被害がなかった地域

(津波に備えた事前避難対象地域あり)

- 大きな被害なし
- 事前避難対象地域の住民は1週間の事前避難
- 企業活動はできる限り継続
- 交通インフラについても、安全性に留意し、できる限り事業を継続
- 学校等が休業することもある(お住まいの自治体にご確認ください)
- 生活必需品の買い占めが想定される

※マンガの設定を基に想定したものであり、南海トラフの西側の領域で先に巨大地震が発生する場合があります。